

こどもを事故から守りたいオンラインセミナー  
(2024. 1. 24)

## ワークショップC

～校庭・園庭、通学中、通園中、校外、園外など屋外での事例から学ぶ事故防止～



東京都葛飾区立柴又小学校長  
木間 東平  
(全国学校安全教育研究会顧問)

# 1. 園児、児童の事故

## ①幼稚園・こども園

- ・けがの発生場所・・・園庭が40%強と一番発生場所として多い

## ②小学生（児童）

- ・休憩時間の事故が48%と一番多く、そして、校庭が54%と一番発生場所として多い

※災害共済給付データより

## ⇒園庭や校庭での事故をいかに防ぐか

- ・園児、児童自ら危険を予測する力を育成する「安全教育」と保育士、教員が危険を予知して防ぐ「安全管理」の両輪を園、学校が組織的に行うことが事故を防ぐ

## 2. 園庭、校庭での事故を防ぐために～「安全管理」より～



- ・園庭、校庭での事故防止にむけて

**「固定遊具の事故防止マニュアル」**を活用した実践を。

⇒ ・遊具の点検のポイントや事故防止対策の留意点がわかりやすく解説されている。

- ・安全点検における留意点

- ・二人組など複数の目で点検
- ・点検場所を固定せず、月ごとなどにローテーションで点検
- ・目視だけでなく、揺らす、叩いてみるなどで変化を確認

☆日本スポーツ振興センター発行の事故防止パンフレット

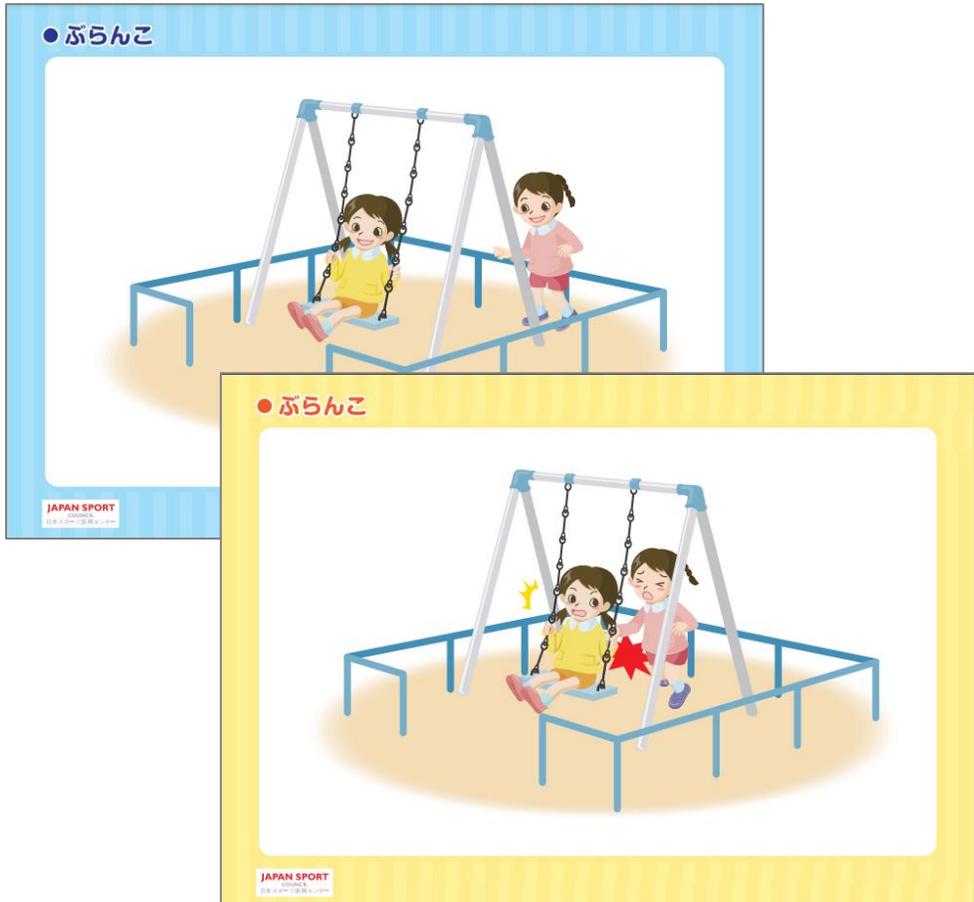
**「なくそう保育中の事故」** **「なくそう休憩時間の事故」** も合わせて活用して、ぜひ事故防止を。

特に、両パンフレットの中の **「チェックリスト」** の活用を。

# 2. 園庭、校庭での事故を防ぐために～「安全教育」より～

○カードやワークシートの活用を通して、園児、児童自らが危険を予測し、回避する力の育成を図ることも重要。

## 幼稚園・保育所向けトレーニングカード



## 小学校向けワークシート



### 3. 園外、校外活動での事故防止にむけて

- 必ず複数人で事前の下見をし、活動場所のチェックを。  
近場であれば、当日も朝チェックしておくことがベスト。
- 園児、児童の動きを予測した安全チェックを。
- 活動場所での役割分担、点検位置をしっかりと確認。  
(引率人数に応じて)
- 活動場所までの交通安全状況についても確認。
- 園、学校との連絡体制の確認。
- 保健グッズの携帯、A E D携帯有無の検討。
- 園児、児童の持ち物、服装の確認。
- 園児、児童への事前指導の徹底。

## 4. 通学中、下校中の事故防止に向けて～安全教育～

○安全学習：**学習指導要領**に基づく、授業の中での安全教育（**年間指導計画**に従って）

- ・自分や他者の安全を守るためのよりよい行動などをじっくり考えさせ、深め、追究する指導

### <交通安全>

第2学年 特別活動(学級活動)

「あんぜんに気をつけて とう下校しよう」



通学路での危険な状況を予想し、  
安全な行動の仕方について考える。



学習後、通学路を  
歩き、学習を深めた。

## 第3学年 特別活動（学級活動） 「安全に通学しよう」

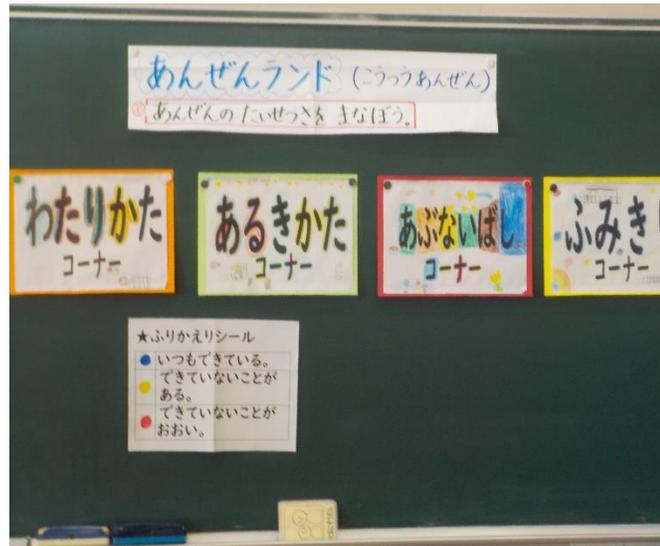
歩行者シミュレータを活用して、安全な道路の歩き方・横断の仕方を身に付ける。



# 第1学年 生活科 「安全な行動を伝えよう」 (校外)



自作模型で踏切の渡り方を伝える。



横断歩道の横断の仕方は？



## <生活安全>

### 第2学年 特別活動（学級活動）

#### 「安全に通学しよう～不審者から身を守る～」

不審者に出会ってしまった時の安全な行動を理解する。



○安全教育に関する学校行事：**関係諸機関を活用した行事**

ALSOK防犯教室



セーフティ教室



警察署と連携「交通安全教室」

# 児童による安全環境づくり

## 安全ニュースコーナーの作成

